

【開催報告（国際研究連携、インドネシア）】

第 14 回日本・インドネシア共同ワークショップを開催しました

国土技術政策総合研究所（国総研）とインドネシア公共事業・国民住宅省道路研究所（IRE）は、道路及び交通分野等における研究連携に関する覚書（平成 21 年 11 月締結、平成 26 年 2 月更新）を締結しております。これに基づき、平成 26(2014)年 11 月 17 日～22 日にバリ、フローレス及びブトンにおいて第 14 回共同ワークショップを開催しました。

（開催内容）

今回の共同ワークショップでは、以下の活動を実施しました。

- ①道路環境
- ②道の駅
- ③環境負荷低減に資する AsButon 研究プロジェクト

日本側からは国総研及び（独）土木研究所の研究者が参加し、インドネシア側から、IRE の Herry Vaza 所長をはじめとした多数の研究者が参加しました。



第 14 回日本・インドネシア共同ワークショップの様子

①道路環境

本セッションでは、1) 第1回 IRF アジア地域会議で発表する内容について、2) 2015年以降の研究内容について討議を行いました。

討議の結果、1)では、両機関においてこれまでに議論してきた内容に基づき発表することを確認しました。2)では、国総研において二酸化炭素排出量の測定で使用する計測機器（二輪車に搭載可能な速度センサー、燃費計、GPS）の選定を行うことが確認されました。

今後は、2015年以降に実施予定の実験準備（インドネシア国内の都市における、二輪車の様々な走行パターンにおける二酸化炭素排出量の測定）を進めることを確認しました。



②道の駅

本セッションでは、1)国総研、IRE、RCSEE*からの発表と西マンガライ県担当者を交えた討議に加え、2)“道の駅”設置予定箇所であるフローレス島のLabuan BajoとLembor、Rutengの現地調査を実施いたしました。

1)では、IREとRCSEE*は今回の現地調査で得られた情報等を追加したレポートを作成し、現地政府に送付することとしました。また、国総研とIREで、“道の駅”の研究に必要な情報共有を今後も密に行うことを確認しました。2)では、“道の駅”の適切な配置を検討するための道路状況および道路環境や現地特産品等の情報収集をしました。



*RCSEE: Research Center for Social Economic and Environment

③環境負荷低減に資するAsButon研究プロジェクト

本セッションでは、1)2015年以降の研究内容についての討議に加え、2)ブトン島のアスブトン関連施設（採掘場2か所、アスブトンを用いた舗装工事現場及び建設中のアスブトンセンター）の視察を行いました。その結果、1)では、アスブトンを用いたグースアスファルト混合物について、実物大スケールで試験施工を行い、供用性を確認し、得られた情報などをマニュアルとして取りまとめ、インドネシア側と共有していくこととしました。2)では、アスブトンが優れたアスファルト舗装用素材であり、豊富に存在することを改めて確認しました。建設中の研究拠点であるアスブトンセンターでは、官民一体となり、アスブトンに関する事業を進めており、アスブトンへの期待の大きさが伺えました。またブトン島知事との会見では、研究連携に必要なアスブトン資材の提供を約束していただきました。



(参考) 活動経緯

国総研と IRE は、平成 21(2009)年 11 月 (平成 26 年 2 月に更新) に交わした研究連携に関する覚書に基づき、これまでに以下の通り共同ワークショップを開催しています。

開催年月	概要
平成 21 年 6 月 (2009)	連携意向/研究ニーズ調査会合 (ジャカルタ、バンドン)
平成 21 年 11 月 (2009)	<u>公共事業省道路・橋梁研究所(RDCRB)【現：道路研究所(IRE)】との研究協力に関する覚書の締結</u>
平成 22 年 3 月 (2010)	第 1 回 WS 開催 (バンドン) 副大臣ほか約 200 名参加、研究連携分野の特定
平成 22 年 6 月 (2010)	RDCRB 所長他来日 (つくば) (10 月開催の国際シンポジウムの事前調整会議)
平成 22 年 10 月 (2010)	第 1 回国際シンポジウム (第 2 回 WS) 開催 気候変動・道路交通環境に関する研究連携に関するアジア太平洋シンポジウム共催 (バリ、7 各国参加) 研究プロジェクトの特定
平成 23 年 1 月 (2011)	第 3 回 WS 開催 (ジャカルタ) 「研究ロードマップ合意 I」
平成 23 年 6 月 (2011)	第 4 回 WS 開催 (スラウエン) 「研究ロードマップ合意 II」
平成 23 年 9 月 (2011)	Study Tour in Japan 開催 (つくば他) 実験施設の現代化調査
平成 23 年 10 月 (2011)	第 2 回国際シンポジウム (第 5 回 WS) 開催 (マタラム) 進捗発表/共有等
平成 24 年 3 月 (2012)	第 6 回 WS 開催 (バンドン) 「研究ロードマップ合意 III (改定含む)」
平成 24 年 6 月 (2012)	第 3 回国際シンポジウム開催 (第 7 回 WS) 開催 (バタム) 「研究ロードマップ合意 IV (改定含む)」技術紹介・現地適応性検討等
平成 24 年 6 月 (2012)	3 カ国中間報告ワークショップ開催 (つくば他) 各研究ロードマップに基づくこれまでの研究連携活動について、研究実務者が共同で活動状況及び成果について中間報告を開催
平成 25 年 1 月 (2013)	第 8 回 WS 開催 (ジャカルタ) 道路環境、交通計測、交通安全、舗装、トンネル分野の研究協力に関する意見交換及び現地調査等
平成 25 年 8 月 (2013)	第 9 回 WS 開催 (パダララン-バンドン) 道路交通、交通安全、舗装、トンネル分野の研究協力に関する意見交換及び現地調査等
平成 25 年 10 月 (2013)	第 10 回 WS 開催 (東京) 道の駅に関するスタディツアー及び舗装、トンネル分野の研究協力に関する意見交換及び現地調査等



- 平成 26 年 2 月 (2014) 第 11 回 WS 開催 (ラブアンバジョー他)
ヘルマント副大臣への表敬訪問及び道の駅、道路環境、交通計測、トンネル分野の研究協力に関する意見交換及び現地調査等
研究協力に関する覚書の更新
- 平成 26 年 3 月 (2014) 第 12 回 WS 開催 (つくば)
ヘルマント公共事業省副大臣の招へい及び道の駅、舗装分野の研究協力に関する意見交換及び実験施設の紹介等
- 平成 26 年 10 月 (2014) 第 13 回 WS 開催 (ジャカルタ)
トンネル分野の研究協力に関する意見交換等

以上